

2026年度 星槎道都大学 入学試験問題

[一般選抜]

一般入試 A日程(2月2日)

政治・経済

全学部 全学科

◎問題用紙 2枚
◎解答用紙 1枚

注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、この中を見てはいけません。
- 2 印刷の不鮮明なものについては挙手をし、監督者へ教えてください。
- 3 解答欄以外にも記入する箇所があります。(氏名・志望学科・受験番号等) 忘れずに記入してください。

政治・経済

第1問 次の文章を読み、下の問いに答えなさい。

近代国家は、(1) をもつという点にその特徴がある。(1) とは、国家の領域のなかでは国民に対し法を強制するなど最高の支配力をもつと同時に、対外的な独立性をもっていることを指す。

近代国家が登場したころは、(1) を国王が行使するという(2) の政治が行われていた。a 国王による政治は王権神授説により正統化された。その後、自然権思想の普及とともに国家の役割が人々の自然権を保障することにあると考えられるようになり、b 民主政治の理念的な基盤となる社会契約説が登場した。

近代の民主政治は、国民の代表者による議会を通じて行われる。議会は、公開の討論を通じて国の基本方針を決定するという(3) に基づいて運営され熟議を経た後、多数決によって議決される。この民主政治の仕組みに対し、多数者の専制という点から警鐘を鳴らしたのが19世紀のフランスの(4) やイギリスのミルであった。

多数者による行き過ぎた権力の濫用に縛りをつけるものとして考えられているのが法である。近代国家においては、国家権力を法によって拘束し、恣意的な支配を排除するという理念が確立している。この理念を(5) といい、c 立憲主義の根幹をなすものである。これにより、国家権力は憲法および法律に従って行使されなければならない、国民の権利と自由が保障される。

d 日本国憲法はこの理念を体現し、権力分立などにより権力の濫用を防止している。日本国憲法の保障する人権に労働者の権利がある。憲法第27条では(6) を、第28条では労働基本権を保障している。これらを具体的に保障するため、事業主において労働者保護の規定が守られているかをチェックする(7) が各都道府県に設けられている。社会の変化にともなって新しい人権保障の必要が生じ、憲法第13条の(8) を根拠にプライバシーの権利やe 自己決定権が議論されている。

問1 文中の(1) ~ (8) に当てはまる語句を語群から選び、答えなさい。

【語群】

審議の原理	多数決の原理	トックビル	行政権	肖像権	職業選択の自由
表現の自由	生存権	ロック	労働組合	法の支配	ハローワーク
代表の原理	主権	立法権	絶対王政	律法主義	法治主義
労働基準監督署	重商主義	幸福追求権	院政	ホッブズ	勤労権

問2 下線部aについて、自由・平等・政治参加を掲げて国王による政治に抵抗し、近代民主主義への転換をもたらしたヨーロッパやアメリカにおける一連の変革を総称して何とよぶか、答えなさい。

問3 下線部bについて、人種や宗教などによる多様な少数派間の意見を調整し、合意形成をはかるスイスやベルギーにみられるような民主主義のタイプを何とよぶか、次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア. 多数者支配型民主主義 イ. 多極共存型民主主義 ウ. 熟議民主主義 エ. 参加民主主義

問4 下線部cについて、立憲主義に基づいて政治が行われるべきとされる理由を、多数決の短所にふれつつ、簡潔に説明しなさい。

問5 下線部dが保障する平等権については、二つの考え方がある。その中の「実質的平等」とは何か、簡潔に説明しなさい。

問6 下線部eについて、「自己決定権」とはどのような権利であるか、個人のライフスタイルの観点から必要となる場面にふれつつ、簡潔に説明しなさい。

第2問 次の文章を読み、下の問いに答えなさい。

経済のグローバル化は、経済的な資源のやり取りを通じて地球規模の環境や生態系の破壊もおし進めた。結果として地球（ 1 ）や生物の（ 2 ）、森林の減少、酸性雨の増加などが生じている。また、紫外線を吸収する役割を持つオゾン層が破壊され、免疫の低下や白内障、皮膚がん発症のリスクが上昇している。市場メカニズムでは解決できない環境破壊は、（ 3 ）として私たちの経済生活にも大きな不利益を与える。環境問題の原因は、a 産業革命以来の長期にわたる先進国の経済活動にあると考えられる。しかし、近年では多くの途上国が先進国の成長モデルを模倣し追随することにより、状況をさらに悪化させている。

1972年にストックホルムで開催された（ 4 ）において、初めて地球規模での環境問題が検討の対象となり、同年に国連は国連環境計画（UNEP）の設立を決議した。1987年には、b オゾン層を破壊する人工化学物質を規制するためのモントリオール議定書が採択され、さらに同年「環境と開発に関する世界委員会」と題する会議において（ 5 ）という考えが登場、2015年に国連が採択した「2030アジェンダ」を経て、c 近年のSDGs運動へと発展する。

特に（ 1 ）を引き起こすと言われている温室効果ガスについては、1997年に国連気候変動枠組み条約第3回締約国会議（COP3）で採択された（ 6 ）において、2008年～2012年における d 温室効果ガスの排出削減を義務づけられた。2015年の第21回締約国会議（COP21）では、発展途上国を含むすべての国が温室効果ガスの削減に取り組み、産業革命以来の平均気温上昇を2度未満に抑えるという協定が採択された。しかし、その後発展途上国と先進国間の義務の不平等や経済活動における負担などを理由として、2020年に（ 7 ）はこの協定から脱退した。同国は2021年以降、政権交代とともに協定からの復帰と脱退を繰り返している。

問1 文中の（ 1 ）～（ 7 ）に当てはまる語句を語群から選び、答えなさい。

【語群】

アイルランド	世界経済フォーラム	持続可能な開発	アメリカ	機会費用
温暖化	パリ協定	ウルグアイ	国連開発環境会議	人権の保護
中国	多様性の減少	私的限界費用	京都議定書	カイロ会談
開発共生	国連人間環境会議	寒冷化	乾燥化	アジェンダ 21
湿潤化	外部不経済	多様化	国連海洋会議	個体数増加

問2 下線部aについて、温室効果ガスを排出する石炭や石油が産業革命以後に大量に使用されるようになった。こうした数千万年～数億年前の有機物から生じた燃料の総称を何とよぶか、漢字四文字で答えなさい。

問3 下線部bについて、オゾン層を破壊する人工化学物質とは何か、答えなさい。

問4 下線部cの、SDGs活動目標に含まれないものを、次のア～オの中から二つ選び、記号で答えなさい。

ア. 宇宙開発 イ. クリーン・エネルギー利用 ウ. 気候変動対策 エ. AI規制 オ. ジェンダーの平等

問5 下線部dにおいて排出量取引という制度が設けられたが、そのしくみを簡潔に説明しなさい。

問6 2000年に我が国において、限られた資源を効率的に活用して環境の保全を図るという「循環型社会形成推進基本法」が制定されたが、この「循環型社会」とはどのようなことを指すか具体的な例をあげて、簡潔に説明しなさい。